

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SB3	経営管理論 Theory of Business Management	藤田 幸敏	専門	2	選択	2年春
科目の概要						
この講義で扱う管理とは、これまで「現代マネジメントを学ぶ」や「現代マネジメント論」で扱ってきた新しいマネジメントではなく、伝統的な経営学における「管理」です。ところで、管理の対象は様々ですが、この講義で扱う管理の対象は「人」です。そして人を管理するには、人(人間)とは如何なるものであるかの理解が鍵を握るでしょう。実際、経営管理論は人に対する理解＝人間観の変化と共に発展してきたとも言えます。そこでこの講義では、人間観の変化と経営管理論の発展を平行させて扱い、加えてその知識を実践的に理解できるよう理論実践の「場」を想定しながら展開していく予定です。						
学修内容			到達目標			
代表的な経営管理論を理解する。 上記理論を人間観と関連付けることで、その必然性を理解する。 学修した経営管理論を実践的に理解する。			代表的な管理理論の内容を説明できる。 管理理論が誕生した必然性を説明できる。 学修した管理理論を実践できる。			
学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏 み出す 力	主体性	ア.管理理論の問題を、自らの問題とすることができる。 イ.学修成果を身に着けるためにすべきことを理解し、主体的に取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	ア.その日の講義内容にそって、出席テストに取り組むことができる。 イ.定期試験問題の解答に向けて準備すべきことを、準備することができる。				
考え抜 く力	課題発見力	ア.管理理論に関する課題を、講義内容に即して見極めることができる。 イ.出席テストで要求されていることを、的確に把握することができる。				
	計画力					
	創造力	ア.管理理論に関する基礎的理解を通じて、新たな可能性を創造することができる。				
チーム で働く 力	発信力	ア.出席テストにおいて、自らの見解を発信することができる。 イ.講義内容の疑問点について、発信することができる。				
	傾聴力	ア.講義内容について、疑問点を探しながら聴くことができる。 イ.出席テストで求められていることを、正確に聴くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ア.受講にあたってのルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキストは使用しません。毎回プリントを配布しますが、基本的な参考書も、適宜紹介します。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:現代マネジメントを学ぶ、現代マネジメント論、現代経営論						
学修上の助言			受講生とのルール			
・毎回の講義を大切に、毎回の出席テスト課題に真剣に取り組んで下さい。 ・常に現実の状況を念頭に置いて、考えるようにして下さい。 ・分からないことを分からないままにしないようにして下さい。			・言うまでもありませんが、ディスカッション等が求められている時以外の私語は厳禁です。 ・出席テストの代理解答が発覚した場合は0点とします。 ・遅刻は、社会人基礎力「規律性」の減点対象となります。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・経営管理論そのものの内容を問う問題と、人間観の変化を踏まえた理論誕生の必然性を問う問題とで設問が構成されています。 ・従って、人間観変化の理解も重要となります。 ・実践的理解を踏まえた独自見解が含まれていれば、より高い配点となります。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで言う「小テスト」とは、毎回出席確認を兼ねて出される「出席テスト」のことです。 ・出席テストは、設問として要求されていることに的確に答えることが重要です。 ・的確な解答の前提として、講義内容を正しく聴いていることが重要です。 ・さらに、独自の意見が含まれていればより高い点を得ることが出来るでしょう。 	
					②	✓		
					③	✓		
					④			
					⑤			
		レポート				①		
						②		
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)				①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)		10	①	✓	社会人基礎力発揮の評価については、以下を観点とします。 <主体性>各回で取り上げる内容を自らの課題としているか。 <実行力>出席テストへの取り組みが、講義内容にそっているか。 <課題発見力>管理理論に関する課題を見つけようとしているか。 <創造力>管理理論の新たな可能性を模索しようとしているか。 <発信力>自らの意見を発信しているか。 <傾聴力>講義の内容やグループ内の意見を、正しく聴くことができているか。 <規律性>受講のルールを守り、人に迷惑をかけていないか。		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
管理理論誕生の必然性を、人間観の変化に関連付けて理解したうえで、その内容を正しく実践的に理解し、自らのものになっていること。	管理理論そのものを正しく理解し、その理論誕生の必然性を、人間観の変化に関連付けて理解していること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	本講義で取り上げるの内容、講義の方法や方針と評価方法、受講にあたってのルール、社会人基礎力の必要性、本講義の評価における社会人基礎力の位置づけについて理解する。	講義	社会人基礎力の意義と本講義の評価方法について理解している。	(予習)シラバスを良く読んでおいて下さい。 (復習)社会人基礎力について再度整理し、全体的な評価方法についての理解を確認して下さい。	90	課題 発見力 傾聴力 規律性
2週 /	そもそも経営学とは何か、および経営学における経営管理の位置づけと、本講義における経営管理の対象・経営管理の考え方について理解する。	講義	経営管理論とは何かについて理解している。	(予習)経営管理論について、調べて下さい。 (復習)経営学における経営管理論の対象について考えて下さい。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	F.W.テイラーの科学的管理法が誕生する歴史的前提について理解する。	講義	経営管理論とは何かについて理解している。	(予習)F.W.テイラーという人について、調べて下さい。 (復習)組織的怠業が発生する理由について、もう一度考えて下さい。	180	課題 発見力 傾聴力 規律性
4週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、テイラーの組織的怠業克服策を理解する。	ペア・ワークと講義	テイラーの「課業」について理解している。	(予習)第3週の出席テスト解答について、話せるようにしておいて下さい。 (復習)課業設定の方法について復習して下さい。	180	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	科学的管理法の要点が作業標準化にあることを理解し、実践的に経験してみる。	講義と実践	標準化の概念について理解している。	(予習)「標準化」について、調べて下さい。 (復習)作業の標準化について色々想像して下さい。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
6週 /	科学的管理を想像させるビデオを鑑賞し、問題点を考える。	ビデオ鑑賞	科学的管理の問題点について、自分の考えを持っている。	(予習)フォード自動車の「T型」について調べて下さい。 (復習)出席テストにおける自分の考えを、もう一度整理して下さい。	180	課題 発見力 創造力 規律性
7週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、欲求五段階説とホーソン実験について理解する。	ペア・ワークと講義	欲求五段階説とホーソン実験について理解している。	(予習)ホーソン実験について、調べて下さい。 (復習)ホーソン実験の要点をまとめて下さい。	180	実行力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	これまでの内容と、自身の行動(社会人基礎力発揮)について振り返る。	プリント作成作業	自身の社会人基礎力発揮について自己評価できている。	(予習)社会人基礎力にちて、整理して下さい。 (復習)科学的管理法について、整理して下さい。	180	主体性 実行力 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	ホーソン実験の結果によって誕生した人間関係論、とりわけG.E.メイヨーの精神革命論について理解する。	講義	精神革命論について理解している。	(予習)G.E.メイヨーという人について、調べて下さい。 (復習)2つの人間観について、整理して下さい。	180	創造力 傾聴力 規律性
10週 /	人間関係論の効果を実践的に理解し、作業効率を上げるには何が必要かを考えます。	実践と講義	作業効率を上げる方法について、自身の考えを持っている。	(予習)欲求五段階説について、調べて下さい。 (復習)欲求五段階説と人間観の関係について、整理して下さい。	180	主体性 実行力 規律性
11週 /	先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いた上で、人間の高次欲求としての自己実現とは何かについて考える。	ペア・ワークと講義	自己実現について、自身の考えを持っている。	(予習)自己実現について、考えて下さい。 (復習)自身の自己実現について考えてみて下さい。	180	発信力 傾聴力 規律性
12週 /	C.I.バーナードの問題意識と、組織的管理について理解する。	講義	バーナードの問題意識について理解している。	(予習)C.I.バーナードという人について、調べて下さい。 (復習)個人と組織の対立について、自分自身の経験で考えて下さい。	180	課題 発見力 創造力 規律性
13週 /	C.I.バーナード理論の補足的事項を理解し実践的に解釈した上で、先週の出席テストの、自身の解答を披露し、相手の解答を聞いて相対化する。	講義とペア・ワーク	バーナード理論について理解している。	(予習)誘因と貢献について、具体的に考えて下さい。 (復習)これまでの講義内容を、復習して下さい。	180	実行力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	これまでの内容と、自身の行動(社会人基礎力発揮)について振り返る。	プリント作成作業	自身の社会人基礎力発揮について自己評価できている。	(予習)シラバスを、もう一度良く読んでおいて下さい。 (復習)これまでの講義内容全体を復習して下さい。	180	実行力 課題 発見力 規律性
15週 /	全体の講義内容について振り返りを行い、定期テストの詳細について理解する。	講義	定期テストを含む、講義全体の評価方針について理解している。	(予習)これまでの講義内容全体を、整理して下さい。 (復習)講義全体の評価方針・方法を整理して下さい。	270	主体性 実行力 規律性

能力名：①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力